

1-57.58
組織の弱体化
再構築が必要

安心安全のための
スクールパス

貧困、子ども以降
への経済支援で
子育てしやすい町
と語るか。

子ども計画の目的が人口増えなれば、
教育時の改善が
必要なのは明らか。

子育て支援
センターの土日祝日
の開設が出来れば
いい。

気軽にできる相談先
が個人コミュニティ
になりつつあるため、
交流施設が必要
ではないか。

②社会を生きぬく力の育成

1-2
ホームステイ生徒の
人数がとれない理由
のり、施策として市民
が納得しない。

1-12
少子化、人口減少
を防ぐためには
1つの言葉だけで
終わらせてよいのか？

1-12
富津に住んだら
いいところは？

1-14
子ども100人
実現は？

子ども、若者の
権利の主体はこ
ども自身、自己表現
では加えられない

各施策内容の
具体的な仕組み
取り組むにつれて
見えない、意見も
出にくいと感じる。

1-8
子どもの遊び場
がない

①子ども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等

民間との
連携の視点を
加えるという
事業所内との
連携

市として
つけていく
ワンストップ
の窓口が
必要

1-1
担当課に押し付ける
のではなく子どもの意見
へ学校等と聞き
とりまとめて担当課へ
伝える組織を作る

富津と生まれ
富津で子育てを全うする
→ワンストップを通じた
視点を持つべき。
1-1の担当課は異動
はムシムシしている。

富津市子ども計画
が知られていない

line等の活用

情報伝達の工夫
広報ふたつなど
も

他市の実践
の視察
先進的な取り
組み

イベント情報
の発信